



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年11月5日

上場会社名 麻生フォームクリート株式会社
 コード番号 1730 URL <https://www.asofoam.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役人事総務部長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 花岡 浩一
 (氏名) 井上 喜博
 TEL 044-422-2061

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,029	11.7	30		36		24	
2020年3月期第2四半期	1,816	0.4	42		39		32	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	7.07	
2020年3月期第2四半期	9.66	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,501	1,364	39.0
2020年3月期	3,413	1,354	39.7

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 1,364百万円 2020年3月期 1,354百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		5.00	5.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	16.6	110	70.2	115	64.6	80	100.9	23.43

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	3,420,000 株	2020年3月期	3,420,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	6,232 株	2020年3月期	6,231 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	3,413,768 株	2020年3月期2Q	3,413,806 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足資料	10
受注高、完成工事高及び繰越工事高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い経済活動が急速に停滞したことから、雇用・所得環境が悪化し個人消費も冷え込むなど景気は厳しい状況となり、政府や自治体の景気対策により生産や消費に持ち直しの兆しが見られたものの水準は低く、設備投資の手控えや雇用調整の動きも広がり、依然として景気は足取りが重い状況で推移いたしました。

建設業界におきましては、政府建設投資は、新型コロナウイルス感染症の影響は小さく堅調に推移しましたが、民間建設投資は、景気の先行き不透明感から設備投資を抑制する動きが広がり低水準で推移いたしました。

このような状況の下、当社は、同感染症感染予防に注力し、前事業年度から取組んでいる気泡コンクリート工事と地盤改良工事の営業活動及び施工それぞれの一体化を一層推進し、営業と施工の効率化に取り組み、受注量の獲得と収益性の改善をはかってまいりました。

その結果、同感染症感染拡大予防に伴う工事の中断や遅延などでの当社への影響は軽微であり、当第2四半期累計期間の業績は、受注高が2,111百万円（前年同四半期比42.9%増）、売上高が2,029百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

各段階の損益につきましては、施工の効率化に努めたことで完成工事総利益率が改善し、また新型コロナウイルス感染症の感染予防のための不要不急の出張控えや、リモート会議の推進による交通費の減少などで販売費及び一般管理費が減少したこともあり、営業利益30百万円（前年同四半期は営業損失△42百万円）、経常利益36百万円（前年同四半期は経常損失△39百万円）、四半期純利益24百万円（前年同四半期は四半期純損失△32百万円）となりました。

主要な工事の状況は、次のとおりであります。

(気泡コンクリート工事)

気泡コンクリート工事は、公共投資の動向に影響を受ける傾向がありますが、当第2四半期累計期間においては公共工事の請負金額が堅調に推移したことで、それぞれの工種で受注が順調に推移し、受注高は軽量盛土工事が820百万円（前年同四半期比29.7%増）、管路中詰工事が373百万円（前年同四半期比81.7%増）、空洞充填工事が536百万円（前年同四半期比235.9%増）となり、気泡コンクリート工事全体の受注高は1,730百万円（前年同四半期比73.4%増）となりました。

完成工事高につきましては、期間内に施工を見込んでいた一部大型工事について採算の関係により受注を断念したことや、また同感染症感染拡大予防に伴う発注の遅れや令和2年7月豪雨の影響による一部工事の施工時期のずれ込みなどがあり、当初見込んでいた完成工事高には届きませんでした。軽量盛土工事の完成工事高が819百万円（前年同四半期比1.5%増）、管路中詰工事の完成工事高が266百万円（前年同四半期比27.0%減）、空洞充填工事の完成工事高が302百万円（前年同四半期比191.4%増）となり、気泡コンクリート工事全体の完成工事高は1,388百万円（前年同四半期比8.8%増）となりました。

(地盤改良工事)

価格競争が激しく、受注高は372百万円（前年同四半期比21.9%減）となりました。

完成工事高につきましては、前事業年度からの繰越工事が多かったことで535百万円（前年同四半期比13.2%増）となりました。

なお、当社の主たる事業の特徴として、完成工事高の割合が下半期に偏るという傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ88百万円増加し3,501百万円となりました。その主な要因としましては、受取手形が66百万円、電子記録債権が77百万円それぞれ減少したものの、現金預金が50百万円、完成工事未収入金が131百万円、リース資産（有形固定資産）が41百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ78百万円増加し2,137百万円となりました。その主な要因としましては、支払手形が93百万円、電子記録債務が81百万円減少したものの、工事未払金が37百万円、借入金が184百万円、リース債務が44百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ9百万円増加し1,364百万円となりました。その主な要因としましては、配当金の支払いを行った一方、当第2四半期累計期間に四半期純利益を計上したことにより、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用した資金は75百万円(前年同四半期は174百万円の使用)となりました。これは主に、税引前四半期純利益36百万円、減価償却費47百万円、仕入債務の減少133百万円、未払消費税等の減少27百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は32百万円(前年同四半期は86百万円の使用)となりました。これは有形固定資産の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は158百万円(前年同四半期は44百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入れによる収入300百万円、長期借入金の返済による支出123百万円、配当金の支払額17百万円などによるものであります。

これにより当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は、前事業年度末に比べ50百万円増加し、558百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大いかんにより建設工事の中断や遅延、また公共工事の発注の遅延などが懸念されますが、今後も順調な受注及び施工が見込まれることから、2020年5月13日に公表しました2021年3月期通期業績予想に現時点で変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	508,195	558,986
受取手形	205,675	139,599
電子記録債権	349,486	271,497
完成工事未収入金	628,606	760,573
売掛金	5,318	6,820
未成工事支出金	1,898	6,124
原材料及び貯蔵品	59,037	64,801
前払費用	22,245	17,852
その他	7,384	15,593
流動資産合計	1,787,848	1,841,850
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	50,055	47,671
構築物（純額）	951	1,489
機械及び装置（純額）	160,965	158,742
車両運搬具（純額）	1,040	1,000
工具、器具及び備品（純額）	7,309	8,873
土地	1,100,858	1,100,858
リース資産（純額）	36,422	77,571
有形固定資産合計	1,357,603	1,396,208
無形固定資産		
ソフトウェア	4,441	3,825
リース資産	4,440	2,220
電話加入権	2,350	2,350
無形固定資産合計	11,232	8,395
投資その他の資産		
投資有価証券	15,544	19,074
関係会社出資金	36,668	36,668
破産更生債権等	4,553	4,553
長期前払費用	2,056	2,174
繰延税金資産	119,569	114,819
敷金及び保証金	14,758	14,383
ゴルフ会員権	83,505	83,505
貸倒引当金	△19,968	△19,968
投資その他の資産合計	256,687	255,211
固定資産合計	1,625,523	1,659,816
資産合計	3,413,371	3,501,666

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	291,694	198,552
電子記録債務	313,972	232,419
工事未払金	394,511	432,055
短期借入金	8,000	16,000
1年内返済予定の長期借入金	235,200	249,584
リース債務	24,236	31,270
未払金	65,472	70,204
未払費用	5,219	6,166
未払法人税等	14,545	13,751
未払消費税等	40,589	13,684
未成工事受入金	13,156	6,048
賞与引当金	27,758	31,971
その他	1,896	2,423
流動負債合計	1,436,250	1,304,131
固定負債		
長期借入金	337,700	500,145
リース債務	19,952	57,477
退職給付引当金	232,001	239,153
役員退職慰労引当金	32,924	36,668
固定負債合計	622,579	833,444
負債合計	2,058,829	2,137,575
純資産の部		
株主資本		
資本金	209,200	209,200
資本剰余金		
資本準備金	180,400	180,400
資本剰余金合計	180,400	180,400
利益剰余金		
利益準備金	24,050	24,050
その他利益剰余金		
別途積立金	885,000	885,000
固定資産圧縮積立金	803	750
繰越利益剰余金	62,487	69,620
利益剰余金合計	972,341	979,420
自己株式	△1,552	△1,553
株主資本合計	1,360,388	1,367,467
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,846	△3,376
評価・換算差額等合計	△5,846	△3,376
純資産合計	1,354,541	1,364,090
負債純資産合計	3,413,371	3,501,666

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	1,816,250	2,029,553
完成工事高	1,795,501	2,011,792
商品売上高	20,749	17,761
売上原価	1,519,571	1,663,872
完成工事原価	1,504,978	1,652,725
商品売上原価	14,592	11,147
売上総利益	296,679	365,681
完成工事総利益	290,523	359,067
商品売上総利益	6,156	6,613
販売費及び一般管理費		
役員報酬	20,223	17,700
従業員給料手当	109,110	111,698
賞与引当金繰入額	20,318	20,459
退職金	1,341	950
退職給付費用	7,398	7,139
役員退職慰労引当金繰入額	3,759	3,743
法定福利費	21,610	22,261
福利厚生費	1,403	1,124
修繕維持費	6,328	8,365
事務用品費	2,531	2,345
通信交通費	29,105	21,051
動力用水光熱費	3,078	2,685
調査研究費	19,313	18,413
広告宣伝費	1,683	1,446
交際費	5,913	1,931
地代家賃	19,151	19,724
減価償却費	7,379	7,446
租税公課	11,042	12,707
保険料	2,294	2,285
雑費	46,446	51,617
販売費及び一般管理費合計	339,435	335,099
営業利益又は営業損失(△)	△42,755	30,582

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業外収益		
受取利息	2	1
受取手数料	141	116
受取配当金	462	4,875
受取技術料	5,321	3,528
雑収入	360	274
営業外収益合計	6,288	8,796
営業外費用		
支払利息	2,343	2,702
為替差損	252	—
支払技術料	140	370
雑支出	354	185
営業外費用合計	3,090	3,257
経常利益又は経常損失(△)	△39,557	36,120
特別損失		
固定資産除却損	—	13
投資有価証券評価損	1,981	—
特別損失合計	1,981	13
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△41,538	36,107
法人税、住民税及び事業税	826	8,270
法人税等調整額	△9,373	3,688
法人税等合計	△8,547	11,958
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△32,991	24,148

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△41,538	36,107
減価償却費	44,501	47,224
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12,216	7,151
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,918	4,213
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,759	3,743
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△5,249	—
受取利息及び受取配当金	△464	△4,876
支払利息	2,343	2,702
為替差損益 (△は益)	252	△116
固定資産除却損	—	13
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,981	—
売上債権の増減額 (△は増加)	281,092	10,596
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△4,199	△4,226
たな卸資産の増減額 (△は増加)	10,405	△5,763
仕入債務の増減額 (△は減少)	△401,662	△133,423
未払金の増減額 (△は減少)	△12,456	4,078
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,831	△27,179
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△20,302	△7,107
その他	△7,407	2,050
小計	△132,642	△64,812
利息及び配当金の受取額	464	467
利息の支払額	△2,377	△3,089
役員退職慰労金の支払額	△23,500	—
法人税等の支払額	△16,441	△8,286
営業活動によるキャッシュ・フロー	△174,497	△75,721
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△86,233	△32,392
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,233	△32,392
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,000	8,000
長期借入れによる収入	200,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△123,600	△123,171
リース債務の返済による支出	△12,745	△8,805
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△17,171	△17,117
財務活動によるキャッシュ・フロー	44,482	158,905
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△216,248	50,791
現金及び現金同等物の期首残高	719,315	508,195
現金及び現金同等物の四半期末残高	503,066	558,986

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

受注高、完成工事高及び繰越工事高

(1) 受注高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	998,044	67.6	1,730,419	81.9	2,559,887	61.9
地盤改良工事	477,366	32.3	372,633	17.7	1,425,360	34.4
その他工事	1,900	0.1	8,750	0.4	153,910	3.7
合計	1,477,310	100.0	2,111,802	100.0	4,139,158	100.0

(2) 完成工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	1,275,839	71.1	1,388,411	69.0	2,617,785	66.0
地盤改良工事	473,062	26.3	535,531	26.6	1,247,551	31.5
その他工事	46,599	2.6	87,850	4.4	100,369	2.5
合計	1,795,501	100.0	2,011,792	100.0	3,965,706	100.0

(3) 繰越工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第2四半期累計期間末 2019年9月30日		当第2四半期累計期間末 2020年9月30日		前事業年度末 2020年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	504,182	79.5	1,066,086	87.0	724,078	64.3
地盤改良工事	97,077	15.3	107,684	8.8	270,582	24.0
その他工事	32,874	5.2	52,014	4.2	131,114	11.7
合計	634,133	100.0	1,225,785	100.0	1,125,776	100.0

- (注) 1. 前事業年度以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合は、当四半期受注高にその増減額を含んでおります。したがって、当四半期完成工事高にもかかる増減額が含まれております。
2. 当四半期末繰越工事高は（前事業年度末繰越工事高+当四半期受注工事高-当四半期完成工事高）に一致しております。